

再 評 価 調 査 書

整理番号	2
担当部局	土木部道路建設課

1 事業概要

(1) 事業名	地方道路整備事業	(2) 名称	一般国道354号谷田部東拡幅
(3) 事業主体	茨城県	(4) 箇所名	つくば市赤塚地内～大角豆地内
(5) 採択年度	平成15年度	(6) 完成予定年度	令和15年度
(7) 事業目的	<ul style="list-style-type: none"> つくば市の渋滞ポイントである大角豆交差点の交通渋滞の緩和を図る。 常磐道桜土浦ICおよび圏央道つくば牛久IC、つくば中央ICへのアクセス強化を図る。 つくば市の幹線道路を整備し、地域交流の活性化を図る。 		
(8) 事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 道路延長 L=2,500m 道路幅員 W=35.0m (4車線) 用地買収、道路改良・舗装 		

2 再評価の理由

(1) 再評価の理由	再々々評価 (完成年度変更)	(2) 当初完成予定	令和5年度
(3) 未着工・事業が長期間要している理由	平成15年度から事業を進めているが、沿道は商業施設が多く、用地交渉が難航していることから時間を要している。		
(4) 前回指摘事項に対する対応状況 (再々々評価の場合)	委員会の意見	対応状況	
	継続することが妥当である。	指摘を踏まえ、大角豆交差点を含む優先整備区間の用地買収を進めた。	

3 事業計画の変更

(1) 完成年度の変更	令和5年度 (2023年度) → 令和15年度 (2033年度) 10年延長 【理由】沿道に商業施設が多く、用地交渉が難航していることから、完成年度が10年遅れることとなった。
(2) 事業内容の変更	【理由】
(3) 事業費の変更	【理由】

4 進捗状況と今後の見通し

(1) 事業進捗状況	全体	前年度	前年度まで	進捗率
事業量 (m)	2,500	0	0	0%
事業費	工事費	3,500	1,450	10.8%
	用地買収補償費	6,200	840	31.2%
	計(百万円)	9,700	2,290	23.8%
(2) 関連事業の進捗状況				
(3) 今後の見通し	工事		用地等	
	交通渋滞の激しい大角豆交差点付近の整備を優先的に進めており、まとまった用地が取得できた箇所から工事を実施する。		優先整備区間の未買収地の取得とあわせて、優先区間外の大型補償物件の用地取得を進め、早期完了を目指す。	

5 評価内容

(1) 事業の必要性	<p>本路線は、県南西部を横断する重要な幹線道路であり、当該区間はTX開業や急激な沿線開発により、慢性的に交通量渋滞が発生している。特に県内有数の渋滞ポイントである大角豆交差点や、稲荷前交差点の交通渋滞の緩和に大きく寄与するものである。</p> <p>また、常磐道桜土浦IC及び圏央道つくば牛久IC、つくば中央ICへのアクセス道路としての機能も持つことから、事業の必要性は高い。</p>					
	社会情勢等の変化に関する指標1	計画時の状況	現時点での状況	社会情勢等の変化に関する指標2	計画時の状況	現時点での状況
	国道354号24時間交通量 (つくば市谷田部)	19,999台/日 (H11セブス)	21,078台/日 (H27セブス)	国道354号24時間交通量 (つくば市下広岡)	32,096台/日 (H11セブス)	37,271台/日 (H27セブス)
(2) 事業の有効性	<p>本事業の完成 (国道354号の拡幅) により、整備なしの場合と比較して通過時間が約2分の短縮図られ、常磐道・圏央道へのアクセス機能強化とともに、つくば市内の渋滞緩和が期待できる。</p>					
	効果予測に関する指標1	事業なし	事業あり	効果予測に関する指標2	事業なし	事業あり
	つくば市赤塚～大角豆(約2.5km)の通過時間(R22)	5分	3分			
	効果算定要因に関する指標1	事業なし	事業あり	効果算定要因に関する指標2	事業なし	事業あり
	将来交通量(R22) つくば市大角豆	18,400台/日	28,400台/日			
(3) 事業の効率性	<p>ア) 主な効果 (B)</p> <p>① 本路線の整備により、つくば市赤塚からつくば市大角豆間の2.5km区間において走行時間の短縮 (約15,000百万円)、走行経費の減少 (約40百万円)、及び交通事故の減少 (約80百万円) が図られる。(計15,120百万円)</p> <p>② 常磐道桜土浦ICや圏央道つくば牛久IC・つくば中央ICへのアクセス機能が強化される。</p> <p>③ つくば市街地の交通混雑が緩和されるとともに、地域の活性化に大きく寄与する。</p> <p>イ) 主な費用 (C)</p> <p>① 事業費 8,600百万円</p> <p>② 維持管理費 200百万円</p> <p>計 8,800百万円</p> <p>主な効果のうち貨幣化が可能なア、イについて事業の効率性を分析した結果は以下のとおりである。 参考となる指標 B/C = 1.7</p>					
(4) 地元の意向	国道354号整備促進協議会 (会長:土浦市長、関係市町村:古河市、境町、坂東市、常総市、つくばみらい市、つくば市、かすみがうら市、行方市、鉾田市) から早期整備の要望等を受けている。					
(5) コスト縮減や代替案立案の可能性	土工における土量の過不足について、近傍で実施している他事業と工事間流用を調整することにより、コスト縮減を図る。					

6 対応方針

つくば市内の安全で円滑な交通の確保や常磐道等とのアクセス機能を強化するため、事業の進捗を図る。

7 再評価委員会の意見

継続することが妥当である。

8 委員会の意見を踏まえた対応

委員会の指摘を踏まえ、現計画に沿って早期完成を目指し、事業を進める。

